

# 松島町交通社会実験の結果について

## 1 松島町交通社会実験協議会での課題の整理及び対応方針

### (1) 令和4年度 松島町交通社会実験の実施概要

#### 1. 実施日

・令和4年10月28日(金)～10月30日(日)の3日間 10:00～15:00

#### 2. 実施概要

##### (1) 国道45号の通行規制の実施

- ・大型車両通行規制区間 : 700m区間  
「松島海岸駅前交差点」～「松島公園第1駐車場交差点」のうち
- ・全車両通行規制区間(歩行者天国) : 250m区間
- ・全車両通行抑制区間 : 450m区間

##### (2) 渋滞の解消及び2次交通の確保

- ・空き駐車場への誘導(町営駐車場等へ誘導)
- ・遠方駐車場から循環シャトルバスを運行
- ・デジタルマップを活用した駐車場の空き情報の提供

##### (3) 道路空間の有効活用

- ・歩行者天国をオープンカフェや休憩施設、イベントスペースとして活用
- ・地元商店会等によるイベントなどの賑わいづくり
- ・観光客や車イスなど、ゆとりある通行の確保



### (2) 松島町交通協議会の委員構成について

<b>道路管理者</b>	仙台河川国道事務所、利府町	
<b>交通管理者</b>	宮城県警察(交通規制課・塩釜警察署)	
<b>近隣市町</b>	塩竈市、多賀城市、東松島市、七ヶ浜町、利府町	
<b>地元関係</b>	行政区、松島消防署	
<b>道路利用者</b>	宮城県トラック協会	
<b>観光関係者</b>	松島観光協会、松島海岸中央商店会、松島旅館組合	
<b>交通事業者</b>	JR東日本、タクシー関係者、バス関係者、	
<b>学識経験者</b>	東北芸術工科大学 吉田 朗 教授(都市交通計画、交通行動分析)	
<b>事務局</b>	松島町、宮城県	

### (3) これまでの協議会の取組について

#### 第1回協議会(R4.4.28)

- ・協議会開催の趣旨
- ・課題の共有

#### 第2回協議会(R4.7.26)

- ・地域課題の整理 ・渋滞対策方針の整理
- ・社会実験の実施方針の決定

#### 第3回協議会(R4.8.26)

- ・第1回社会実験実施計画について

#### <<第1回 松島町交通社会実験>> (R4.10.28～30)

#### 第4回協議会(R5.1.12)

- ・第1回社会実験アンケート集計結果
- ・第1回社会実験の効果と課題
- ・第2回社会実験実施方針(案)

#### 第5回協議会(R5.3.24)

- ・第2回社会実験実施について

#### 第6回協議会(R5.4.13)

- ・第2回社会実験内容の確認

## (4) 次回の社会実験実施に向けた課題の抽出について

### 交通状況について

#### 【迂回路における交通量の変化】

- ・社会実験実施前及び実験中における交通量を調査

#### 【主要交差点における渋滞長調査】

- ・社会実験中における主要交差点の渋滞長を調査

#### 【国道45号の交通規制による経路の変化】

- ・社会実験前及び実験中における車両通行経路の変化を調査

### アンケートについて

#### 【アンケート調査による評価や課題の把握】

- ・観光客、道路利用者、トラック協会、周辺住民、観光事業者に対してアンケート調査を実施



### 協議会での検討

#### 【次回の社会実験で取り組むべき課題の整理】

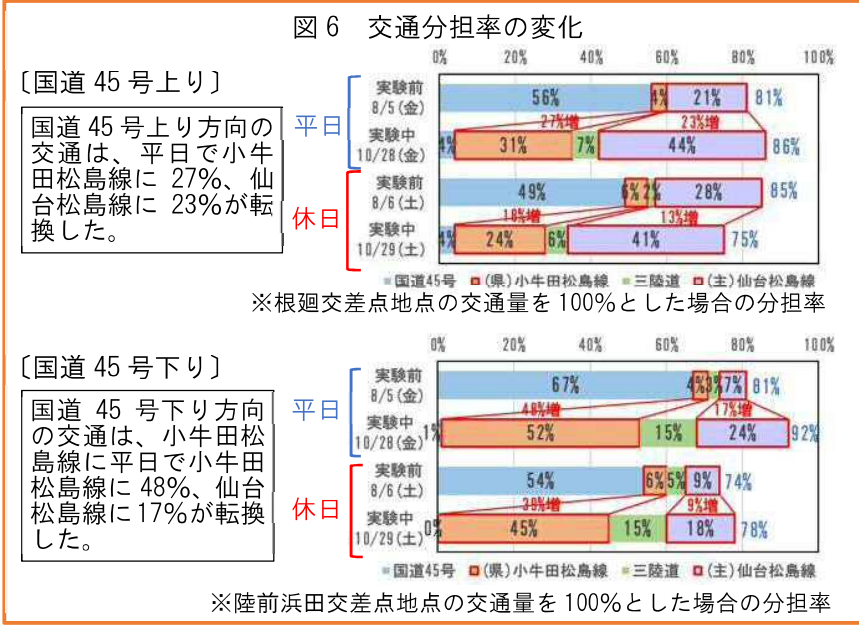
交通状況の調査、アンケート調査及び「松島町交通社会実験協議会」の委員の意見を基に、成果や課題を整理し、次回の交通社会実験で取り組む対応方針を抽出

## (5) 次回の社会実験実施で取り組む課題と対応方針

項目	課題	対応方針
交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国道45号の愛宕交差点」で、実験開始直後の1時間程度の渋滞が発生(交通調査)</li> <li>・迂回路に指定していない道路へ車両が侵入し断続的な渋滞が発生(交通調査)</li> <li>・三陸自動車道への迂回車両の転換は進まなかった(交通調査)</li> </ul>	事前周知・広報の強化
観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業者へのイベント波及効果が限定的(アンケート)</li> <li>・イベントでの物販等、参画を求める声が多い(アンケート)</li> <li>・社会実験について、5割が肯定的な評価、否定的な意見は約2割(アンケート)</li> <li>・売上減が半数、売上増、変化なしが3割(アンケート)</li> <li>・シャトルバスの運行により、歩行者天国区間以外の沿道店舗への立ち寄りが減少(協議会)</li> </ul>	地域の観光事業者の理解促進と連携の強化
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が「歩行者天国」付近に集中し、周辺店舗等への回遊が減少した(協議会)</li> <li>・お年寄りや体の不自由な方々の移動手段が必要(協議会)</li> <li>・社会実験の事前認知割合は5割弱(アンケート)</li> <li>・県外からのツアー観光への周知が十分ではなかった(協議会)</li> <li>・イベントの内容充実を望む意見(アンケート)</li> </ul>	観光2次交通の最適化・多様化

## ②交通状況について

- 迂回路における交通量の変化**
  - 社会実験時は国道45号が通行規制されていたため、全ての迂回路で交通量は増加したが、信号が少なく、通常時の国道45号より迂回路の旅行速度が早かったため、通過する所要時間に大きな差はみられなかった。
  - 三陸道の交通量は社会実験の前後と比較して大きな変化はなく、高速道路への転換はみられなかった。
- 主要交差点における渋滞の変化**
  - 信号の手動介入等によって『石巻—塩竈間』、『石巻—利府間』の広域的な迂回について大きな渋滞は発生しなかった（交通規制前後に一時的に発生）。
  - 一方、町道高城桜渡戸線のJR高城踏切付近で断続的に渋滞が発生した。
- 国道45号の交通規制による経路の変化**
  - 国道45号上り方向の交通は大部分が仙台松島線へ転換し、国道45号下り方向は井戸尻放森線から小牛田松島線を通る経路へ転換した。
  - 仙台松島線下り方向の交通は、大きな経路変更はみられなかった。

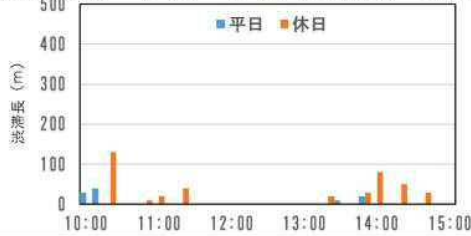


### ■主要地方道仙台松島線

図1 断面交通量・渋滞長の変化



※社会実験時間帯：10時～15時（5時間）の断面交通量で算出



社会実験時は平休ともに交通量が約3割増加し、休日は100m前後の渋滞が断続的にみられたが、大きな渋滞は発生しなかった。

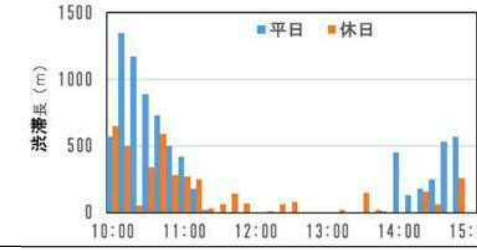


### ■国道45号 (愛宕交差点)

図3 断面交通量・渋滞長の変化



※社会実験時間帯：10時～15時（5時間）の断面交通量で算出



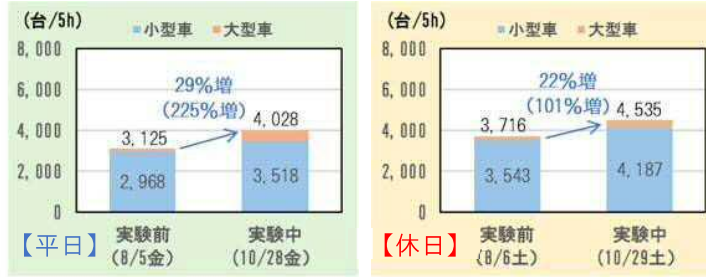
渋滞長のピークは10時頃であり、平日は石巻方向1,350m、休日は650mとなった。但し、平休ともに11時台には解消した。

### ■国道45号 (愛宕交差点)



### ■一般県道赤沼松島線

図2 断面交通量・渋滞長の変化



※社会実験時間帯：10時～15時（5時間）の断面交通量で算出



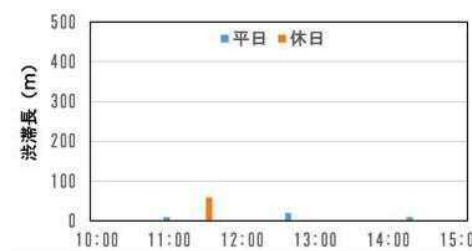
交通量は平日で29%、休日で22%増加したが、渋滞は発生しなかった。

### ■一般県道小牛田松島線

図4 断面交通量・渋滞長の変化

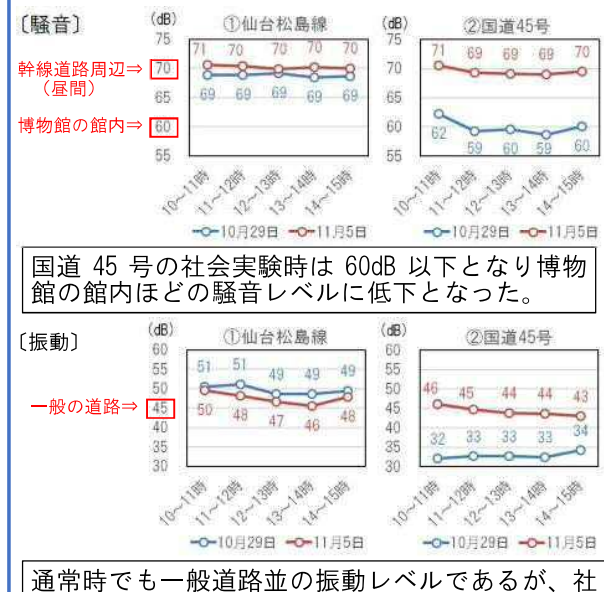


※社会実験時間帯：10時～15時（5時間）の断面交通量で算出

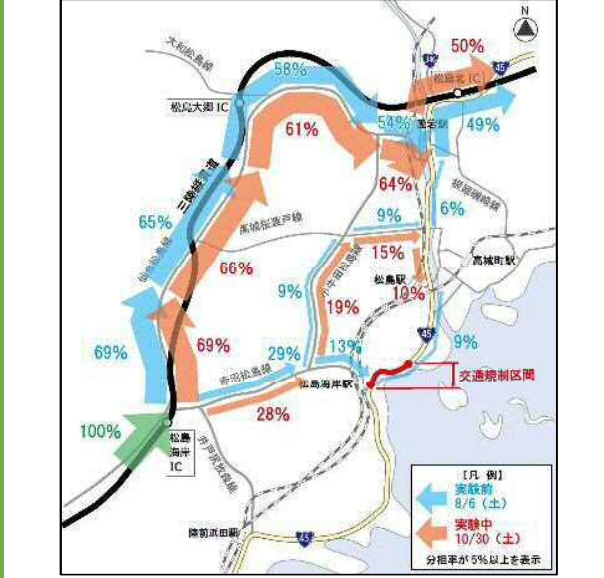


迂回路の交通量の中で小牛田松島線の増減率が最も大きい、渋滞は発生しなかった。

### 図5 騒音・振動の変化



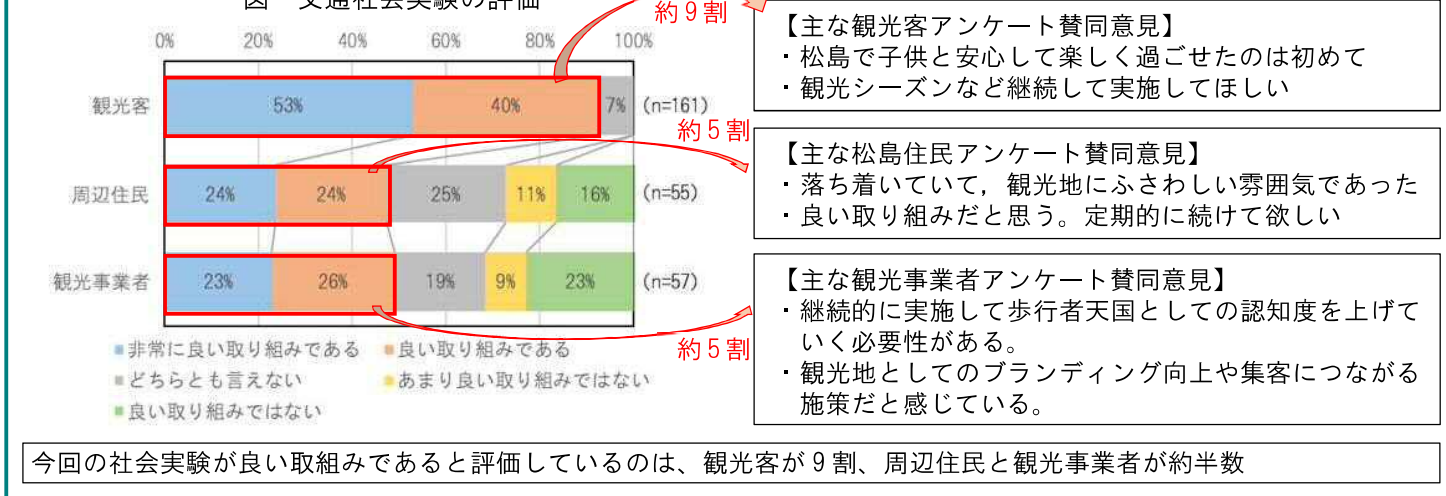
### 図9 経路の変化 (仙台松島線下り (休日))



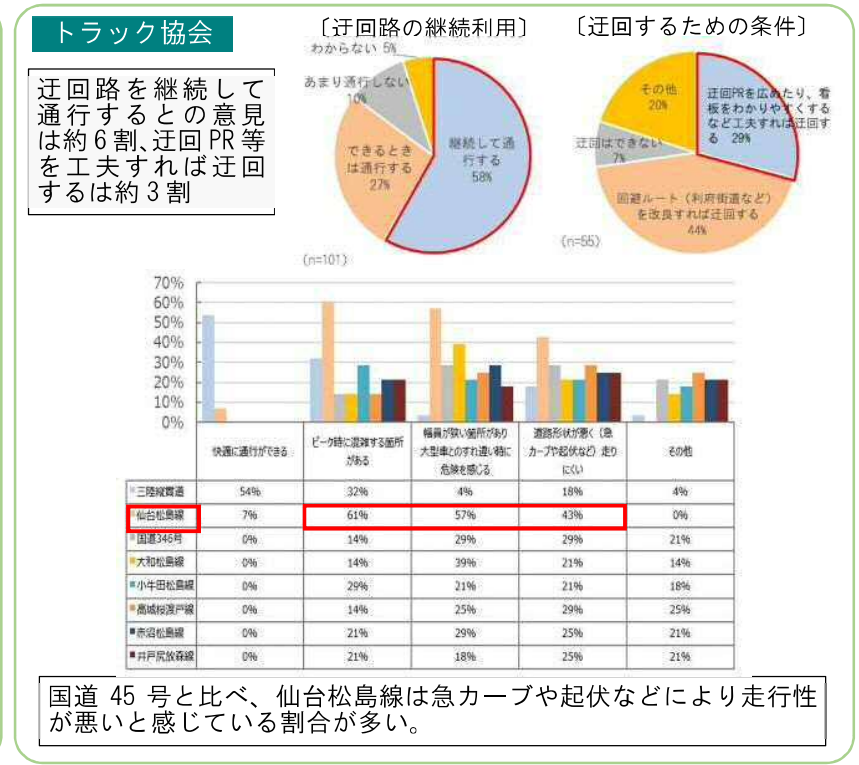
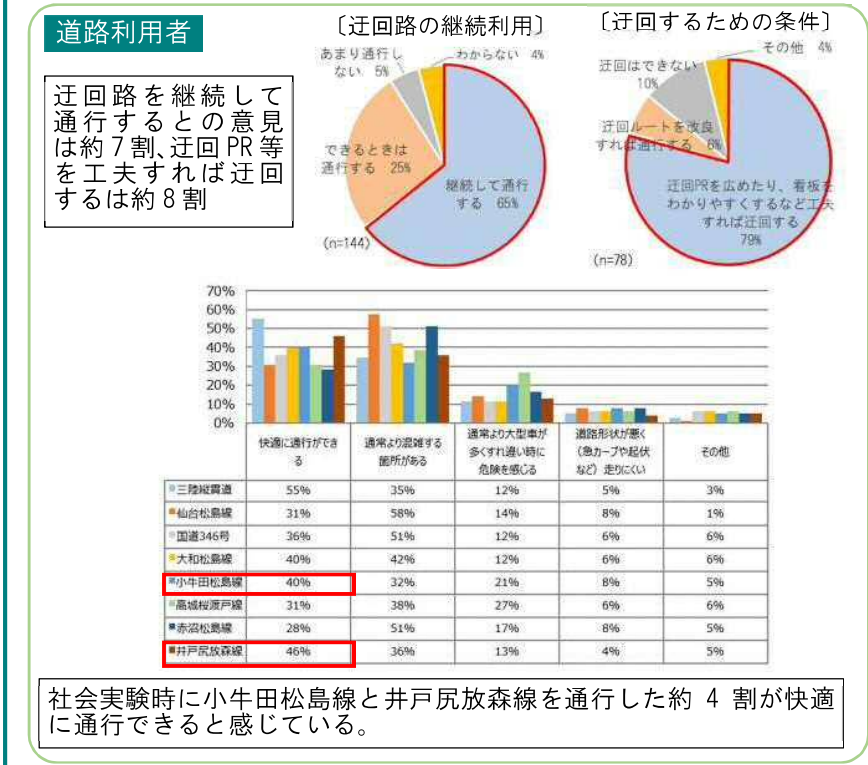
# ③ アンケート結果について

観光客	・シャトルバスの運行により、遠方駐車場に駐車する車が増加し、松島海岸における駐車場待ちの渋滞は発生しなかった。
道路利用者	・道路の混雑状況や駐車場の空き情報について、DXによる情報提供があれば利用したいと半数以上が回答している ・迂回PRを工夫すれば迂回する車両が多くなることが見込まれる。
トラック協会	・継続して迂回路を通行する割合が多く、迂回PRを工夫すればさらに迂回する車両が多くなることが見込まれる。 ・迂回路の仙台松島線(利府街道)は、幅員狭小や急カーブ等による走行性の悪さを指摘する意見が多く、仙台松島線の改良を望む意見が多い。
周辺住民	・松島地区の住民は、松島町内の他地区と比べて今回の社会実験を良い取り組みだと感じている割合が高い ・周辺住民が利用する生活道路において、断続的に渋滞が発生したことから生活道路へ交通流入を抑制する検討が必要。
観光事業者	・波及効果が歩行者天国周辺の事業に限られたことから、より多くの観光事業者が参画できるよう調整が必要。

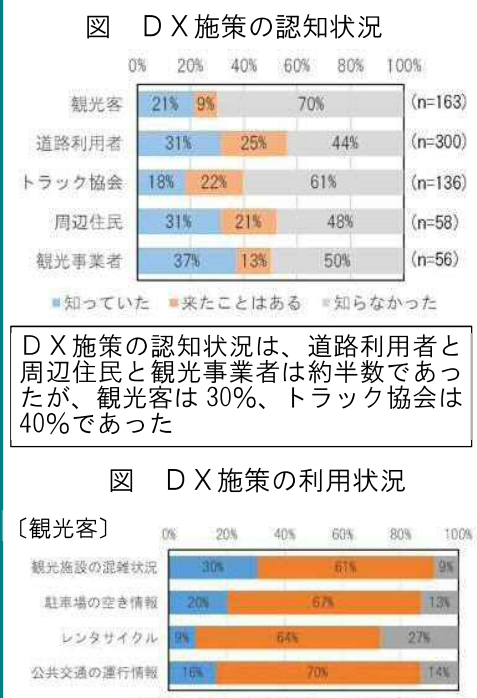
## ① 社会実験の評価【観光客、周辺住民、観光事業者】



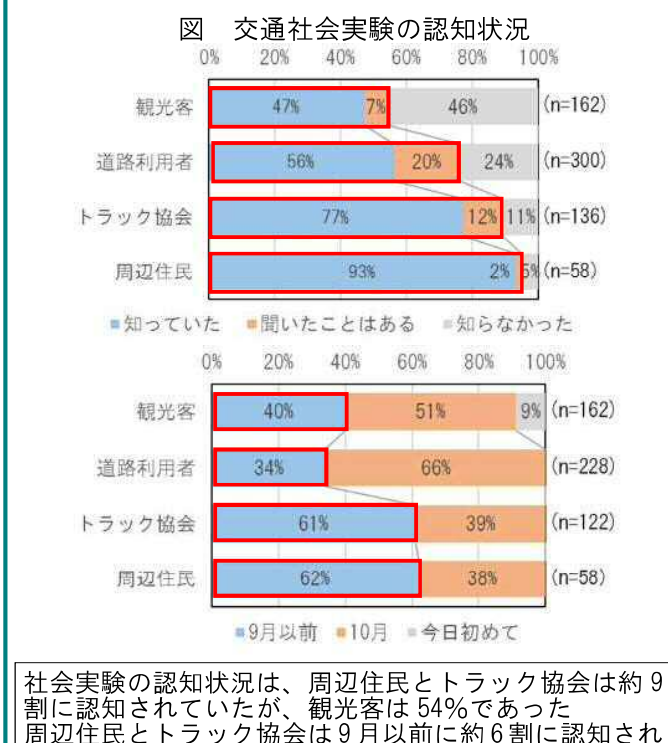
## ② 迂回路の混雑状況【道路利用者、トラック協会】



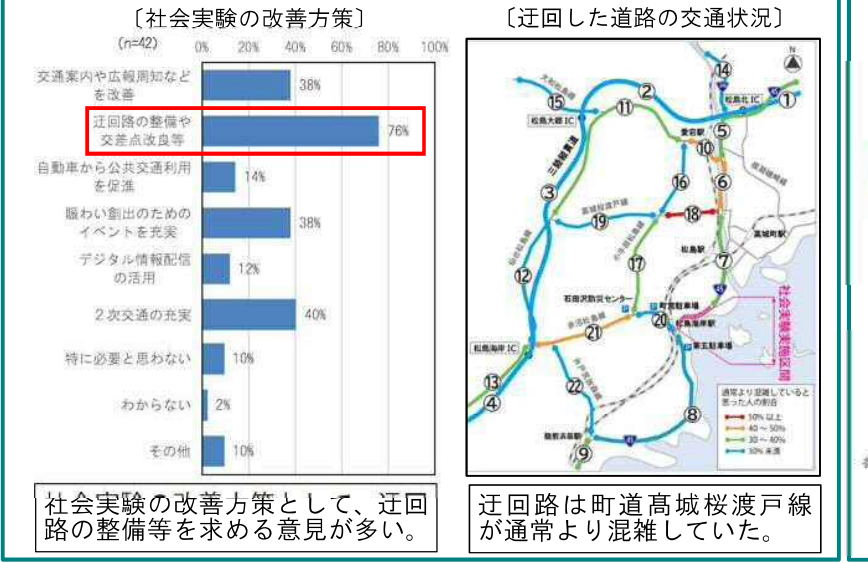
## ⑤ DX施策の認知状況【観光客、道路利用者、トラック協会、周辺住民、観光事業者】



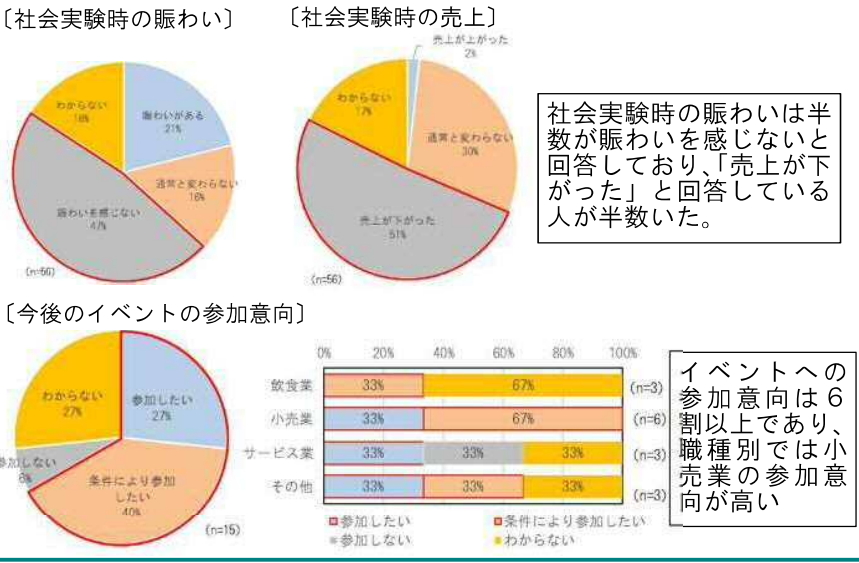
## ⑥ 交通社会実験の認知状況【観光客、道路利用者、トラック協会、周辺住民】



## ③ 周辺道路の混雑の改善方策【周辺住民】



## ④ イベントへの参加意向【観光事業者】



## 図 情報収集の媒体

